

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|---------|---|
| 実習企業・機関 | 社会福祉法人大槌町社会福祉協議会 |
| 実習期間 | 平成 30年 8月 27日 ~ 平成 30年 8月 31日 |
| 学生氏名 | 小川雛 |
| 実習プログラム | <p>< 1 日目 > 社協</p> <p>8:30 朝礼・体操 :40 担当地区ごとの打ち合わせ</p> <p>9:00 ミーティング :30 オリエンテーション</p> <p>10:00 社協の概要説明</p> <p>11:00 ボランティアセンターについて</p> <p>12:00 昼食休憩</p> <p>13:00 ミーティング :30 相談員・支援員の概要</p> <p>14:00 生活支援相談員の同行訪問</p> <p>15:00 民生委員・貸付相談について</p> <p>16:00 ミーティング・振り返り</p> <p>< 2 日目 > 社協&デイサービスはまぎく</p> <p>8:30 朝礼・体操 :40 ミーティング</p> <p>9:00 民協全体会準備</p> <p>10:00 民協全体会参加</p> <p>12:00 昼食休憩</p> <p>13:00 ミーティング :30 デイサービスはまぎくへ</p> <p>14:00 体操・レクリエーション</p> <p>15:00 おやつ時間 :30 送迎同行</p> <p>16:30 ミーティング :45 日誌記入</p> <p>< 3 日目 > 社協</p> <p>8:30 朝礼・体操</p> |

8:50 大槌町役場 社会福祉士 2 人に挨拶
10:00 吉里吉里公民館見学・館長さんのお話
11:00 サロン打ち合わせ同席
12:00 昼食休憩
13:00 住民支え合いマップについて
:30 総務にて事務処理
15:00 共同募金について
16:00 ミーティング
:20 振り返り(日誌記入)
:50 2階で情報共有会同席

< 4 日目 > 小規模多機能型居宅介護施設ほっとおおつち

8:20 ミーティング
:40 送迎
9:40 利用者対応(お迎え・お茶出し)
:50 業務内容について・施設見学
10:20 利用者対応(お話・コーヒー出し)
11:20 訪問介護同行
:50 昼食休憩
12:50 訪問入浴準備・同行
15:00 レクレーション
:15 おやつ配膳
:40 送迎・訪問介護
16:20 振り返り(日誌記入)
:30 ミーティング

< 5 日目 > ワークフォローおおつち&社協

8:20 ミーティング
:30 施設概要・事業内容の説明
9:00 施設内見学
:30 実習(缶詰作業)
12:00 昼食休憩
13:00 実習(部品作業)
15:00 実習振り返り(日誌記入)
:30 社協へ戻る
16:00 ミーティング
:20 実習振り返り
:50 情報共有会同席

| | |
|--|---|
| <p>学び・気づき (300字程度)</p> | <p>今回、自治会という組織の面から地元の住民関係、仕組みづくりを知ることができたことで、地域を知るうえでは目の前に見えていることだけでなく、地域の仕組みまで知ろうとすることが重要だと学んだ。</p> <p>また、私が興味を持っていた地域福祉・まちづくりの中には特に注目していた子ども世代・親世代だけでなく高齢者世代も存在しており、なおさら施設を利用し普段自分と関わりを持たない高齢者であっても地域支援の対象者であるということを改めて気づかされた。上に書いていることも含めて、自分の視野が自分の関心と比例して狭くなっていることに気が付いた。今後、関心を広めて自分の将来に必要な知識や考えを身につけていこうと思った。</p> |
| <p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p> | <p>将来は地元に戻り就職したいと思っていたが、改めて地域の魅力や組織としての地域を知ることができた。それをふまえて、今後この地域には発信力や時代の変化にも合わせた地域組織づくりが必要なのではと感じた。よって私が地元に戻ってできることとは、地域の魅力を発信し交流人口を増やすことなのではないかと思った。その為にも自分に足りないと感じた知識や経験を学生のうちに学び、今後の将来に活かせるように取り組んでいきたいと思った。</p> |
| <p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p> | <p>まずは、職員全員が同じ目標に向かって取り組んでいるという姿勢がうかがえた。地域のニーズがそこにあるからこそ取り組む、役場では拾いきれない住民の声を拾いサポートするというような寄り添いの役割を担っているように感じた。</p> <p>また、基本的には「人」を相手とする仕事のため、それぞれの精神的サポートや職場環境も整えられているように感じた。情報共有も密に行われており、チームとして住民一人ひとりの状況や変化を職員全員が把握しているように何度もミーティングや報告を行っていた。</p> |
| <p>写真 (1~3点)</p> | |